

THE ARCTIC RACE P.12

オイルマネーによるTV向けレース?違います。アークティック(北極圏)レースはレースに対する情熱とアイデアをツールドフランスを運営するASOとのタッグにより実現したロードレースの新しくユニークな形。ロフォーテン諸島をはじめとする美しいノルウェーを巡るレースを構成する人や組織、加えてパン職人、漁師、ロードレーサーへのインタビューなど多様なノーウェジアン・ポートレート。

PARADISE LOST P.50

ピレネーの沿道をオレンジに染め上げる、バスク人によるバスク人の為のチーム、Euskaltel Euaskadi。世界中のどのチームにも類を見ないSocialでLocalなチームの成り立ちとそのフィロソフィ、レースの栄光やドーピング問題そして挫折。F1ドライバー、フェルナンド・アロンソが救おうとしたチームの魅力や運営の問題を、所属した選手やディレクター、ファンの証言をもとに構成した始末記。

AWOL P.52

Johnny Geenによるコラム

BACKSTAGE PASS P.78

2013のツールドフランスで話題となったOrica GreenEdgeによるAC/DCトリビュートムービー。チームの映像プロデューサー、Dan Jonesはただ選手やチームスタッフのFunな部分をファンに伝えスポンサーのプロモーションにするだけでなく、全てのスタッフの多くの視点を取り上げることによってさらにその先、アームストロング以後のサイクリスポートチームのあり方を提示しようとしています。

HEINRICH HAUSSLER P.98

春の荒れたクラシックレースでもグローブを付けない彼の強さはどこから来るのか。14歳で自転車競技の為母国オーストラリアを離れ単身ドイツへ渡りホームシックと戦いながらも軍隊のトレーニングに参加するなどした少年時代や幼少時からの膝の不調、家族との関係、アルコールでの多くのトラブル…。クラシックレースのスペシャリストHeinrich Hausslerの秘密に迫ります。

GUILT TRIP P.120

Matt Seatonによるコラム

SAN PATRIGNANO P.122

イタリアにある薬物中毒者の為の施設、San Patrignano。守衛も立てず薬物投与もしないこの施設ではパン製造、大工、ドッグトレーナーなどとして“働く”ことをリハビリプログラムとしています。Dario Pegorettiの弟、Gianniはここでフレームビルディングを教える教官。かつてはここでCarreraのフレームの多くを製造し現在も最新のカーボンフレームを高いクオリティで作りに続けています。イタリアの、このワークショップで“作る”ことから自転車界の現在も見ることが出来ます。

'CROSS WORLD 1973 P.150

ヨーロッパ本土から離れて初めて行われたイギリス、Crystal Palace Parkで行われた1973年のシクロクロス世界戦。それまでの巨大な障害物や体が埋まるような深い水たまり、45度の坂があるようなコースではなく舗装路を含む現代的なスピードコースを採用したこの大会を前号42号で特集した写真家Gerry Cranhamの写真や当時の選手たちのコメントを元に、よりアトラティブになったこの大会を再考します。

ORANGES AND LEMONS P.194

Robert Millarによるコラム

